



### 背景

漁業経営体の減少、生産量の低迷（H9まで3万トン前後 ▶ H19以降2万トン割れ）

コンブは道内の生産額が200億円を超える主要な水産物

コンブ漁業の現状  
大部分が手作業  
高齢化

労働負担大

特にコンブ干し作業は重労働  
前かがみ作業  
多数の人手必要

コンブ干し作業の負担軽減に強い要望

アシストスーツの開発

～乾燥コンブができるまで～

漁 → 洗浄 → 干し → 切断 → 選別 → 出荷

### 成果

#### 1 コンブ干し作業をアシストするベスト型スーツ



胸はファスナー、  
太ももは面ファスナー  
テープで着脱可

長期モニター試験では、アンケート回答者全員が負担軽減と評価



作業性を損なわないアシスト機能を実現し  
腰背部（脊柱起立筋）の負担を約2割軽減

#### 2 特許出願・H25製品化

#### コンブ漁業者中心に普及



「2～3時間のコンブ干し作業でも楽」、「翌朝の疲労感が以前と全く違う」などユーザーに好評

作業負担軽減により健康喪失リスクを低減

農業や建設業、製造業等からも反響あり

### 成果の活用状況

- 北海道漁業協同組合連合会から腰楽スーツ「タスカル」として製品化され、漁業者の作業負担軽減に貢献しました。
- 前屈姿勢で行われる多くの作業に応用が可能、問合せの多い農業者向けに講習会等を通じて紹介しました。